

センター試験で時間配分を間違えた話や、文理選択のテスト結果を見て悩んだ話などをします。生徒は失敗したくないと思っているので、興味をもって話を聞いてくれます。(福岡県・南正起先生)



私は塗料メーカーで自動車塗料を開発していましたが、その後、通信教育にて教員免許を取得したので、その経緯を話します。生徒たちは、こんな進路決定もあるのかと認識し、自分のことは自分で決めようと思ってくれるようです。(福島県・A先生)

大学入試、大学のゼミ選考、就活などで挫折があったことを話します。ご縁があった(与えられた)環境で努力を続けることで、次の自分が見えてくることを伝えていきたいですね。(静岡県・稲葉渉先生)



教員になってからは、県外視察の見聞録、企画した研修会・講演会で出会った講師とのエピソードなども話します。(広島県・B先生)

大学を卒業する際の就職活動の話をする。企業の採用担当者とのやり取り、面接体験など、多くの企業を受験したので、その体験は高校生にも十分に役立つ話だと思います。(兵庫県・井上仁志先生)



民間企業に勤務した経験があるので、3年生には、私が新入社員の時に上司や先輩方に教えてもらったことを話しています。生徒たちは皆、真剣に聞いています。(山形県・齋藤昌広先生)

「何も考えずに大学選びをすると失敗するよ」、という流れで、自分が大学で1年間仮面浪人をした話をします。(青森県・小向暢輝先生)



学生時代のボランティア活動や教員になった動機など。実体験を話すと生徒は積極的に聴き、質問も多数出ます。(大阪府・C先生)

## 進路指導、私の工夫 となりの知恵袋



テーマ：自分の体験談やプライベートを話しますか？

ネット閲覧可

WEBサイトには紙面に載せきれなかったヒントも掲載  
キャリアガイダンス.net > 「進路指導、私の工夫」をチェック!